

特殊詐欺被害防ぐ

東濃信金可児支店に感謝状

可児署

来店客の特殊詐欺被害を未然に防いだとして、可児署は、東濃信用金庫可児支店(可児市広見)に署長感謝状を贈った。

署によると2日午前、御高町の60代男性が定期預金400万円の出金を求め、来店。窓口で担当した林莉奈さんが理由を尋ねたところ「秘密で言えない」と答えたため、支店補佐役の渡辺真由美さんに相談。すると2年前にも男性は、未遂

に終わった詐欺に巻き込まれていたことを覚えていたため、次長の箭引亮介さんを通じて署に通報した。駆けつけた署員が事情を聞くと、男性は警察をかたる男から「詐欺事件の関与

が疑われ、疑いを晴らすには別口座に預金をまとめる必要がある」と電話を受けていたといい、特殊詐欺と判明した。

贈呈式では高木晃署長から感謝状と、署と可児地区防犯協会から「安全・安心まちづくり協力店」のプレートが渡された。箭引さんは「お客さまの資産を守れてよかった。今後も注意喚起したい」と喜んだ。高木署長も「職員の危機管理、教育がされており、流れるような連携で被害を防いだ」とたたえた。(中村芳紀)



詐欺被害を防ぎ、署長感謝状を受けた箭引亮介さん(左から2人目)ら＝可児署